

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.1

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43894

1

C



倉元
 相利
 44.2.15

大臣米商村組理士使會談件

44.2.15 米商士

2月15日 大臣 相利 米商村組理士使を
 向会談に出席、約1時間交渉した。其の

知得 先方、沖繩運送用船は12月2日米商
 船は未だ白紙であり個人給意見として申し

出るとして、申すに子に子母号が在り。

1. 基地の地位に在りて、換や自衛隊に在りて
 在土並みと在り、取扱を公にしたい場合

を以て、日本国内の施設に曝工せしむるに
 本元まで、米商に米商の意見を提出せしむる。

公にせしむる事は、日本国内で、早急土壌
 と在り、在土並みと在り、取扱を公にしたい場合

に在りては、米商取扱を、在土並みと在り、取扱を公にしたい場合

外務省

と云ふ、此の最、米商の意見を、在土並みと在り、取扱を公にしたい場合

又、日本側と在りては、或一線を主には、政府
 が、在土並みと在り、取扱を公にしたい場合

にも在り、米商に在りては、本元まで、米商に在りては、米商の意見を提出せしむる。

先、米商に在りては、米商の意見を提出せしむる。

米商の意見を提出せしむる。

在土並みと在り、取扱を公にしたい場合
 (記、米商の意見を提出せしむる)

沖繩が在りては、米商の意見を提出せしむる。

米商の意見を提出せしむる。

GA-6

外務省

要は 会合の取決めは 抱幸國協が 陸軍
を認めたい 陸軍は 否として 否か 否か
と云ふ

それ以上のものが 決まらば 陸軍部は 必ず
承認する 否か 否か 両國の利益に 合致する
と云ふ

4. 國合取決は 12月の 閉会であるが 今
陸軍部は 陸軍部 陸軍部 陸軍部

以上を 陸軍部 陸軍部 陸軍部 又
陸軍部 陸軍部 陸軍部 陸軍部

同様に 12月 mandate を 与つた 否か 否か
かと云ふ 閉会 閉会 閉会 閉会

以上

5. 以上は 會合の 取決め 本國政府 本國政府
報告 報告 報告 報告